

m

PAT-NO: JP02001357142A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001357142 A

TITLE: SYSTEM AND METHOD FOR PUBLICATION

PUBN-DATE: December 26, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TSUCHIDA, SHINGO	N/A

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a publication which enables a consumer to enjoy reading and has such interactivity that the consumer sends information by oneself.

SOLUTION: This system is equipped with a providing means 4 for a place of speech where a theme of debate or discussion is made open to the public on a communication network 2 and opinions, assertions, personal experience, etc., are invited with the notice that a certain number or more of opinions, assertions, personal experience, etc., to the theme when contributed are published as a book without any correction, a contributed data storage means 5 which stores contributed data sent from an information processing terminal 3 connected through the communication network, and a publishing means 6 which creates a publication 7 by gathering the contributed data.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (2):

SOLUTION: This system is equipped with a providing means 4 for a place of speech where a theme of debate or discussion is made open to the public on a communication network 2 and opinions, assertions, personal experience, etc., are invited with the notice that a certain number or more of opinions, assertions, personal experience, etc., to the theme when contributed are published as a book without any correction, a contributed data storage means 5 which stores contributed data sent from an information processing terminal 3 connected through the communication network, and a publishing means 6 which creates a publication 7 by gathering the contributed data.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-357142
(P2001-357142A)

(43) 公開日 平成13年12月26日 (2001. 12. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 3 2	C 0 6 F 17/60	1 3 2 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-177001(P2000-177001)

(22) 出願日 平成12年6月13日 (2000. 6. 13)

(71) 出願人 500136485

株式会社エコース

東京都中野区本町 2-2-11

(72) 発明者 土田 信吾

東京都小平市小川町 1-1098-11

(74) 代理人 10008/468

弁理士 村瀬 一美

Fターム(参考) 5B049 BB25 BB26 CC02 CC21 DD01

DD05 FF02 FF03 FF04 FF09

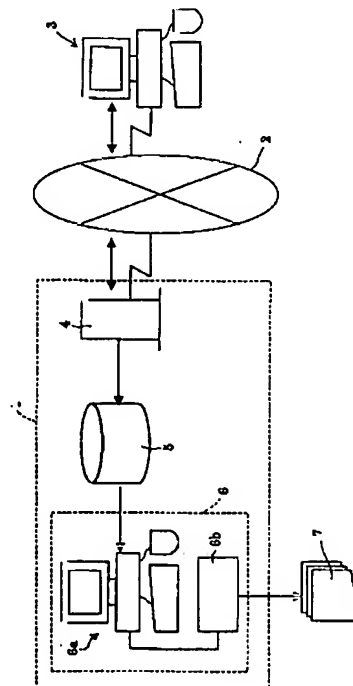
GG04 GG07

(54) 【発明の名称】 出版システム及びその出版方法

(57) 【要約】

【課題】 消費者が読書を楽しむことができると共に、消費者自らが情報を発信できる双方向性を持たせた従来にない出版物を得る。

【解決手段】 通信ネットワーク2上で討論・議論のテーマを公開しテーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示の下に意見・主張・体験記などを公募する発言の場の提供手段4と、通信ネットワークを介して接続される情報処理端末3から送信される投稿データを蓄積する投稿データ蓄積手段5と、投稿データを集めて出版物7を作成する出版手段6とを備えるようにしている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信ネットワーク上で討論・議論のテーマを公開し前記テーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示の下に意見・主張・体験記などを公募する発言の場の提供手段と、通信ネットワークを介して接続される情報処理端末から送信される投稿データを蓄積する投稿データ蓄積手段と、前記投稿データを集めて出版物を作成する出版手段とを備えることを特徴とする出版システム。

【請求項2】 前記投稿データ蓄積手段は、投稿データと共に一定のユーザー情報を入力したときに前記情報処理端末から送信可能としてユーザー情報をも併せて蓄積することを特徴とする請求項1記載の出版システム。

【請求項3】 前記発言の場の提供手段は討論・議論のテーマを公募することを特徴とする請求項1または2のいずれかに記載の出版システム。

【請求項4】 通信ネットワーク上で討論・議論のテーマを公開して前記テーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示を併せて行って前記意見・主張・体験記などを公募し、前記通信ネットワークを利用して情報処理端末から寄稿される前記投稿データを集めて出版物にまとめて出版することを特徴とする出版方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、出版システム及びその出版方法に関する。さらに詳述すると、本発明は、通信ネットワークを利用した出版システム及びその出版方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネットに代表される通信ネットワーク上において、投稿閲覧システムが実用化されている。この投稿閲覧システムでは、個人の投稿を受け付けて掲示板のごとくインターネット上で一般公開し、これを閲覧した閲覧者と投稿者との間のコミュニケーションを取り持つ。このシステムにはたくさんの投稿文が寄せられるとともにこれを閲覧するアクセスも非常に多く盛況を博している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、投稿閲覧システムは、投稿文に記述された情報が時々刻々と更新され、閲覧者はこれら情報を拾い読みする性質のものであり、文章を熟読し又は再読して楽しむ読書的な性質のものではない。

【0004】一方、製本された書籍を読めば、作品としての文章を楽しむことはできるが、この場合、投稿閲覧システムのように閲覧者自らが情報を発信できる双方向性はない。

【0005】そこで本発明は、通信ネットワークの持つ

双方向性を利用して、消費者が読書を楽しむことができると共に、消費者自らが情報を発信できる双方向性を持たせた従来にない出版物を得る出版システム及びその出版方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するため、請求項1記載の発明にかかる出版システムは、通信ネットワーク上で討論・議論のテーマを公開しこのテーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示の下に意見・主張・体験記などを公募する発言の場の提供手段と、通信ネットワークを介して接続される情報処理端末から送信される投稿データを蓄積する投稿データ蓄積手段と、投稿データを集めて出版物を作成する出版手段とを備えるようにしている。また、請求項4記載の発明の出版方法は、通信ネットワーク上で討論・議論のテーマを公開して該テーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示を併せて行って意見・主張・体験記などを公募し、通信ネットワークを利用して情報処理端末から寄稿される投稿データを集めて出版物にまとめて出版するようにしている。

【0007】投稿データの投稿者はそのテーマに対する意見・主張・体験などの強いこだわりを有し、特に他人がどのような意見を有しているのか、どう考えているのか、またどのような体験を有しているのかということに強い興味を有している。これに対し、通信ネットワークを介してテーマを公開し発言の場を与える一方、他人の意見・主張・体験などは通信ネットワーク上では公開しないで、それらを出版物にまとめて出版するようにしているので、投稿者は当該出版物を購入するまでは他人がどのような意見を持っているのか知りたいと思う気持ちを満たされることがない。したがって、投稿者に対し、公開された討論・議論テーマに対する意見などを集めて出版された出版物に対する購買意欲を強く刺激することができる。

【0008】同時に、投稿しない人も公募テーマに対し色々な人がどのような意見・主張・体験を持っているのか非常に好奇心を刺激されるものである。更にこのことは公募を知らなかった人に対しても、書店などで当該出版物を目にすることがあれば、議論テーマに対し自分なりの意見・主張・体験などを例外なく有していることから、他人がどのような考えを有しているかということに非常に強い興味を掻きたてられる。したがって、これらの者に対しても、公開された討論・議論テーマに対する意見などを集めて出版された出版物に対する購買意欲を強く刺激することができる。

【0009】さらに、公募されたテーマに対して発言の場が与えられるので、そのテーマに対し興味や意見などを有している人は、積極的に発言の場の提供手段にアク

セスし、また意見などを寄せ、それが取り上げられて出版物として出版されれば更にそれを購買することとなる。更にそのことが発言の場の提供手段の存在を需要者の間に広めて益々アクセスを増やすと共に意見などの寄稿を増加させ充実させることができる。

【0010】また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の出版システムにおいて、投稿データ蓄積手段が、投稿データと共に一定のユーザー情報を入力したときに情報処理端末から送信可能としてユーザ情報をも併せて蓄積するようにしている。この場合には、その蓄積ユーザに対して出版本や出版本目録、バックナンバーなどを発送することが可能となる。

【0011】更に、請求項3記載の発明は、請求項1または2のいずれかに記載の出版システムにおいて、発言の場の提供手段が討論・議論のテーマを公募するようにしている。この場合には、発言の場即ち提供手段にアクセスしてきた者が広く興味を抱いている討論・議論のテーマを収集することができるので、より活発にかつ有意義な意見などを集めることができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の構成を図面に示す実施形態に基づいて詳細に説明する。

【0013】図1から図3に本発明の出版システムの実施の一形態を示す。この出版システム1は、通信ネットワーク2上で討論・議論のテーマを公開しテーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨の告示の下に意見・主張・体験記などを公募する発言の場の提供手段4と、通信ネットワーク2を介して接続される情報処理端末3から送信される投稿データを蓄積する投稿データ蓄積手段5と、投稿データを集めて出版物7を作成する出版手段6とを備えるようにしている。

【0014】本実施形態での通信ネットワーク2は、例えば、コンピュータネットワークの集合体であるいわゆるインターネットを利用することが好ましい。これにより、出版システム1では、不特定多数の情報処理端末3から、テーマに対する意見・主張・体験記などを募集することができる。以下、本実施形態では、通信ネットワーク2をインターネット2と呼ぶ。

【0015】インターネット2上での提供手段4と情報閲覧用端末3との通信手段として、例えば、既知の技術であるWWW (World Wide Web) サーバとWWWブラウザによるWWWシステムの利用が容易であり好ましい。

【0016】本実施形態での発言の場の提供手段4は、例えば、中央処理装置、主記憶装置、補助記憶装置、通信インタフェース、入出力インタフェース等のハードウェア資源とこれらハードウェア資源を制御するオペレーティングシステムを備えるコンピュータを用いて、WWWサーバとして機能するソフトウェアを実行することにより実現される。発言の場の提供手段4（以下、本実

施形態ではWWWサーバ4と呼ぶ。）は、通信ネットワーク2即ちインターネット2に接続される。

【0017】本実施形態での情報処理端末3は、例えば、中央処理装置、主記憶装置、補助記憶装置、通信インタフェース、入出力インタフェース、キーボード、マウス等のポインティングデバイス、ディスプレイ等のハードウェア資源とこれらハードウェア資源を制御するオペレーティングシステムを備えるパーソナルコンピュータであり、WWWサーバ4が提供する情報を閲覧することができるWWWブラウザの機能を有するものである。情報処理端末3（以下、本実施形態ではクライアント3と呼ぶ。）は、インターネット2に接続される。これにより、クライアント3の利用者（以下、本実施形態ではユーザと呼ぶ。）は、クライアント3を用いインターネット2を通じてWWWサーバ4にアクセスすることが可能となる。

【0018】なお、WWWサーバ4及びクライアント3をインターネットに接続する場合の接続形態は、特に限定されるものではない。例えば、所定の通信インタフェースを用いることで、公衆電話回線、またはOCN (Open Computer Network) 等の通信専用回線、ISDN (Integrated Services Digital Network)、ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line)、携帯電話の基地局を経由したデータ通信等を利用することができる。また、例えば、インターネットプロバイダを介してインターネット2に接続するものとしても良い。

【0019】WWWサーバ4では、例えば、既知のWWWシステムの機能により、ハイパーテキスト機能によりリンクされたHTML形式のウェブページを複数格納しており、インターネット2を介してクライアント3から要求のあったウェブページを当該クライアント3に送信する。

【0020】例えば、本実施形態のWWWサーバ4では、ウェブページとして、討論・議論のテーマを公開しテーマに対する意見・主張・体験記などが一定数以上寄稿された時にそれを無修正で本にして出版する旨を掲載するウェブページ（以下、本実施形態ではテーマ発言ページと呼ぶ。）と、ユーザが意見・主張・体験記等を投稿するためのウェブページ8（以下、本実施形態では投稿用ページ8と呼ぶ。）を格納している。なお、WWWサーバ4に格納されるウェブページは、これらに限定されるものではない。例えば、テーマについて説明したウェブページや、出版システム1について説明したウェブページ等を用意しておき、適宜、各ウェブページをハイパーテキスト機能によりリンクさせるようにしても良い。

【0021】なお、討論・議論のテーマは一つに限られるものではない。例えば、複数のテーマを設定し、ユーザが好きなテーマについて投稿できるようにすることができるのは勿論である。本実施形態では、例えば、3つ

のテーマをテーマ発言ページに公開するようにする。また、テーマに沿った意見・主張・体験記の募集と共に、ユーザが取り上げて欲しいテーマを同時に募集するようにしても良い。これにより、出版システム1の運営者側では発送し得ないようなテーマや、WWWサーバ4にアクセスしてきたユーザが広く興味を抱いている討論・議論のテーマを収集することができ、より活発かつ有意義な意見などを集めることができる。なお、本実施形態での出版システム1では、各テーマについてのユーザの意見・主張・体験記などを、例えば、簡潔で歯切れの良い短編小説をイメージして、400字以内で募集するようにする。

【0022】本実施形態での投稿データ蓄積手段5は、例えば、WWWサーバ4と連携し、投稿データを蓄積するデータベース機能を有するコンピュータである。WWWサーバ4と投稿データ蓄積手段5との連携機能は、例えば、投稿用ページ8を介してCGI (Common Gateway Interface) を起動させるもの、投稿用ページ8に所定のスクリプトを含めるもの等、既知のWWWシステムに用いられるものを利用することができる。

【0023】本実施形態の投稿用ページ8の一例を図2に示す。投稿用ページ8では、例えば、ユーザがクライアント3を利用して投稿用ページ8に設けられたテキストエリア9に意見・主張・体験記を記述し、同じく投稿用ページ8に設けられた送信ボタン10をクリックすることにより、テキストエリア9に記述された投稿データがWWWサーバ4に送られ、投稿データ蓄積手段5（以下、本実施形態では投稿用データベース5と呼ぶ。）に格納されるようにしている。なお、ユーザがキャンセルボタン12を押すことで、投稿用ページ8に記述された内容が消去されるようにしても良い。

【0024】なお、例えば、ユーザが電子メールを用いて、出版システム1の電子メールアドレス宛てにテーマに沿った意見・主張・体験記を投稿するようにしても良い。この場合は、出版システム1のメール受信ボックスが投稿データ蓄積手段5となる。なお、出版システム1の電子メールサーバと投稿用データベース5を、例えば、API (Application Program Interface) を利用して連携させるようにし、出版システム1のメール受信ボックスが受信した投稿データを投稿用データベース5に自動転送し格納するようにしても良い。

【0025】また、本実施形態の投稿用ページ8では、図2中の枠11で示すように、ユーザの「名前」若しくは「匿名（ペンネーム）」、「年齢」、「性別」、「職業」、「メールアドレス」、「住所」、「趣味」、「選択したテーマの番号」等の情報（以下、本実施形態では、ユーザ情報と呼ぶ。）も、ユーザによって記述されるようにし、投稿データと共にWWWサーバ4に送られ、投稿用データベース5に格納されるようにする。このため、例えば、投稿用ページ8に、ユーザが「名前」

若しくは「匿名（ペンネーム）」、「メールアドレス」、「住所」、「選択したテーマの番号」を記載できるテキストボックス、また、「職業」を選択できるドロップダウンボックス、「性別」、「趣味」を選択できるチェックボックス等を設けるようにしても良い。これにより、例えば、投稿データが蓄積された投稿用データベース5に対しデータベース操作を行なうことで、テーマ別に、さらに、性別や年齢等のユーザ層ごとに意見・主張・体験記をまとめることも可能となる。また、その蓄積ユーザに対して出版本や出版本目録、バックナンバーなどを発送することが可能となる。なお、収集するユーザ情報は上述したものに限定されるものではない。

【0026】また、テーマに沿った意見・主張・体験記の募集と共に、ユーザが取り上げて欲しいテーマを同時に募集する場合においては、例えば、取り上げて欲しいテーマをユーザが投稿する場合にも投稿用ページ8を利用できるようにしても良い。この場合、例えば、「選択したテーマの番号」が空欄である場合又は所定の記号が記入されることで、投稿データと区別できるようにしても良い。

【0027】本実施形態での出版手段6は、例えば、投稿用データベース5の内容をコンピュータ6a上で編集し、編集した投稿データを製本装置6bにて出版物7として出力するいわゆるCAP (Computer Aided Publishing) システムにより実現することができる。これにより、投稿用データベース5と出版手段6を連携させて、容易に意見・主張・体験記の編集及び製本ができる。

【0028】また、投稿データは簡単な寸評などを付して原則としてそのまま掲載するが、必要に応じて誤字・脱字などを修正することもある。例えば、投稿データ中の誤字等を、誤字チェック用のソフトウェアを実行させて自動修正するようにしても良い。なお、編集後の投稿データを、例えば、インターネット2を介してCAPシステムを有する製本会社等に送信して、製本会社等で製本するようにしても良い。

【0029】例えば、本実施形態の出版システム1では、100名のユーザから投稿があった場合に、寄せられた意見・主張・体験記等を無修正で製本して出版するようにする。また、寄せられた意見・主張・体験記等の編集の際に、各ユーザの作品について、寸評として一言、印象を追記するようにしても良い。以上のように、製本された出版物7は出版後、商品として流通する。したがって、意見・主張・体験記等を投稿したユーザは、あるテーマについての自分の意見・主張・体験記等及び同一テーマについての他人の意見・主張・体験記等により成る出版物7を購入することができる。

【0030】次に、以上のように、構成された出版システム1による投稿データの募集から出版までの流れの一例を説明する。図3は、クライアント3とWWWサーバ4と投稿用データベース5との間の情報の送受信と処理

の流れの一例を時間経過に沿って示したものである。

【0031】まず、インターネット2に接続されるWWWサーバ4では、テーマ発言ページに、「討論・議論のテーマ」、「ユーザからテーマに対する意見・主張・体験記などを募集する旨」、「テーマに対する意見・主張・体験記などが100名のユーザから寄稿された場合にそれを無修正で本にして出版する旨」を掲載する(ステップ1)。なお、テーマは1つに限らず、例えば、本実施形態では3つのテーマを用意して、ユーザが意見・主張・体験などの強いこだわりを有している希望のテーマを選べるようにしている。

【0032】クライアント3は、例えばインターネット2上の検索エンジン等から、出版システム1のテーマ発言ページのURLアドレスにアクセスしてくる(ステップ2)。WWWサーバ4はこれに応じてテーマ発言ページのデータをクライアント3に送信する(ステップ3)。これにより、クライアント3側でテーマ発言ページが表示される(ステップ4)。

【0033】ユーザはテーマ発言ページを閲覧し、そして、あるテーマに対し興味を持ち意見・主張・体験記などの投稿を希望する場合は、例えばハイパーテキスト機能で投稿用ページ8にリンクされている所定の文字等をクリックする。これにより、クライアント3は、WWWサーバ4に、投稿用ページ8の閲覧要求を送信する(ステップ5)。WWWサーバ4はこれに応じて投稿用ページ8のデータをクライアント3に送信する(ステップ6)。これにより、クライアント3側で投稿用ページ8が表示される(ステップ7)。

【0034】なお、WWWサーバ4には、テーマ発言ページ、投稿用ページ8以外にも、例えば、テーマについて説明したウェブページや、出版システム1について説明したウェブページ等を用意しておき、適宜、各ウェブページをハイパーテキスト機能によりリンクさせるようにしても良い。また、テーマ発言ページと投稿用ページ8とを併せて一のウェブページとして構成するようにしても良い。

【0035】そして、ユーザが、投稿用ページ8にて、テーマに応じた意見・主張・体験記などを記述し又ユーザ情報を記述して(ステップ8)、送信ボタン10をクリックすることにより、投稿データ及びユーザ情報がWWWサーバ4に送られる(ステップ9)。この際、WWWサーバ4側で、投稿データ及びユーザ情報の書式チェック等を行ない、不備があればエラーメッセージをクライアント3に送信するようにしても良い。正常な投稿データ及びユーザ情報であれば、WWWサーバ4と投稿用データベース5間で通信が行なわれて(ステップ10)、投稿データ及びユーザ情報が投稿用データベース5に格納される(ステップ11)。また、投稿用データベース5に格納された後、投稿用データベース5からWWWサーバ4へ格納通知を送信し(ステップ12)、さ

らに当該格納通知を受け取ったWWWサーバ4からクライアント3へ投稿データが無事に受け取られた旨の受信通知を送信し(ステップ13)、クライアント3側で当該受信通知を表示するようにしても良い(ステップ14)。

【0036】なお、ユーザが意見・主張・体験記などを記述する間(ステップ8とステップ9との間)は、クライアント3とWWWサーバ4は常にオンラインである必要は必ずしもない。例えば、投稿用ページ8受信後にユーザは一旦クライアント3をインターネット2から一度切断して、オフラインで意見・主張・体験記など及びユーザ情報を投稿用ページ8に記述した後、再度インターネット2に接続し、投稿用ページ8の送信ボタン10をクリックすることで投稿データ及びユーザ情報をWWWサーバ4に送信するようにしても良い。また、この他、例えば、テーマ発言ページに出版システム1の電子メールアドレスを公開しておき、ユーザが電子メールで出版システム1のメール受信ボックス宛てに投稿データ及びユーザ情報を送信できるようにしても良い。

【0037】このようにして、投稿データ及びユーザ情報は投稿用データベース5に蓄積される。そして、例えば100名のユーザから投稿があった時に、出版手段6により、寄せられた投稿データが誤字・脱字等を除き原則として無修正で例えばテーマ別に区分され、各投稿データについて寸評として一言印象が追記されて、製本装置6bに出力されて出版物7として製本される。なお、例えば、所定のデータベース操作を実行するプログラムや誤字チェック用のソフトウェアをスケジュールしてコンピュータ6a上で自動実行させることにより、出版手段6での編集作業を半自動化するようにしても良い。また、編集した投稿データを、例えば、インターネット2を介してCAPシステムを有する製本会社等に送信するようにして、製本会社等で製本するようにしても良い。

【0038】以上のように、製本された出版物7は出版されて、商品として流通する。

【0039】出版システム1に投稿するユーザはそのテーマに対する意見・主張・体験などの強いこだわりを有し、特に他人がどのような意見を有しているのか、どう考えているのか、またどのような体験を有しているのかということに強い興味を有している。これに対し、出版システム1では、インターネット2を介してテーマを公開し発言の場をWWWサーバ4において与える一方、他人の意見・主張・体験などはインターネット2上では公開しないで、それらを出版物7にまとめて出版するようにしている。このため、投稿したユーザは出版物7を購入するまでは他人がどのような意見を持っているのか知りたいと思う気持ちを満たされることがない。したがって、投稿したユーザは、出版物7に対する購買意欲を強く刺激される。そして、出版物7を購入することで、投稿したユーザは出版物7に自身の意見・主張・体験な

どが採用される満足感を得ると共に、自分が意見・主張・体験等を有するテーマと同テーマについての他人の意見・主張・体験などを読み知ることができる。

【0040】同時に、投稿しなかったユーザも公募テーマに対し色々な人がどのような意見・主張・体験を持っているのか非常に好奇心を刺激されるものである。更にこのことは公募を知らなかった人に対しても、書店などで目にする事があれば、議論テーマに対し自分なりの意見・主張・体験などを例外なく有していることから、他人がどのような考えを有しているかということに非常に強い興味を掻きたてられる。したがって、これらの者に対しても、出版物7に対する購買意欲を強く刺激することができる。

【0041】さらに、WWWサーバ4により発言の場は引き続き与えられているので、そのテーマに対し興味や意見などを有しているユーザは、積極的にWWWサーバ4にアクセスし、また意見などを寄せ、それが取り上げられて出版物7として出版されれば更にそれを購買することとなる。更にそのことが発言の場としてWWWサーバ4の存在を需要者の間に広めて益々アクセスを増やすと共に意見などの寄稿を増加させ充実させることができる。

【0042】これにより、出版物7の消費者は読書を楽しむことができると共に、消費者自らがクライアント3を用いインターネット2を介して情報を発信できる双方向性を持たせた、従来にない出版物7を提供することができる。

【0043】なお、上述の実施形態は本発明の好適な実施の一例ではあるがこれに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において種々変形実施可能である。

【0044】例えば、出版システム1による出版物7は紙を媒体として製本されたものに限定されず、例えば、投稿データをもとにCD-ROM等を媒体として出版するようにしても良い。

【0045】また、例えば、WWWサーバ4上で、ユーザから出版された出版物7の評価を募るようにして、高い評価を得られたユーザの意見・主張・体験などに対して、賞品を贈呈するようにしても良い。

【0046】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、請求項1記載の出版システムと、請求項4記載の出版方法では、通信ネットワークを介した公募テーマに対して発言の場を与える一方、他人の意見・主張・体験については通信ネットワーク上では公開せず、それらを出版物にまとめて出版するようにしているので、出版物に自身の意見・主張・体験などが採用されることへの満足感及び当該テーマに対する他人の意見・主張・体験などが知りたいという興味や好奇心を刺激して、出版物に対する購買意欲を強く喚起することができる。同時に、投稿しない

ユーザに対しても公募テーマに対し色々な人がどのような意見・主張・体験を持っているのかという好奇心を刺激して、出版物に対する購買意欲を強く喚起することができる。さらに公募を知らなかった人においても、議論テーマに対し自分なりの意見・主張・体験などを例外なく有していることから、出版物を書店などで目にする事があれば、非常に強い興味を掻きたてて、出版物に対する購買意欲を強く刺激することができる。

【0047】さらに、公募されたテーマに対して発言の場が与えられているので、そのテーマに対し興味や意見などを有している人は、積極的に発言の場の提供手段にアクセスし、また意見などを寄せ、それが取り上げられて出版物として出版されれば更にそれを購買することとなる。更にそのことが発言の場の提供手段の存在を需要者の間に広めて益々アクセスを増やすと共に意見などの寄稿を増加させ充実させることができる。

【0048】したがって、消費者が読書を楽しむことができると共に、消費者自らが情報を発信できる双方向性を持たせた従来にない出版物を提供することが可能となる。

【0049】また、請求項2記載の出版システムは、投稿データ蓄積手段が、投稿データと共に一定のユーザ情報を入力したときに情報処理端末から送信可能としてユーザ情報をも併せて蓄積するようにしているので、その蓄積ユーザに対して出版本や出版本目録、バックナンバーなどを発送することが可能となる。また、意見・主張・体験記などを、テーマ別に、さらに、性別や年齢等のユーザ層ごとにまとめることも可能となる。

【0050】更に、請求項3記載の出版システムは、発言の場の提供手段が討論・議論のテーマを公募するようにしているので、発言の場即ち提供手段にアクセスしてきた者が広く興味を抱いている討論・議論のテーマを収集することができるので、より活発にかつ有意義な意見などを集めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の出版システムの一実施例を示す概略構成図である。

【図2】ユーザが意見・主張・体験記等を投稿するためのウェブページの一例を示す図である。

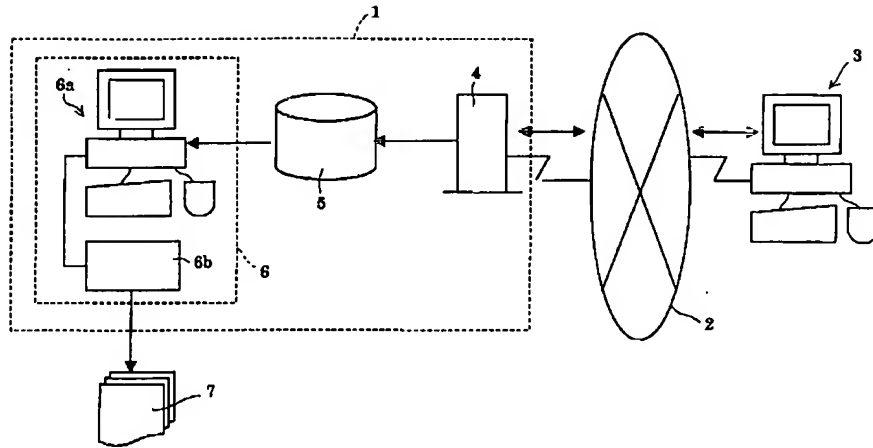
【図3】情報処理端末（クライアント）と、発言の場の提供手段（WWWサーバ）と、投稿データ蓄積手段（投稿用データベース）との処理シーケンスの一例を説明する図である。

【符号の説明】

- 1 出版システム
- 2 インターネット（通信ネットワーク）
- 3 クライアント（情報処理端末）
- 4 WWWサーバ（発言の場の提供手段）
- 5 投稿用データベース（投稿データ蓄積手段）
- 6 出版手段

7 出版物

【図1】



【図2】

The form is divided into two main sections. The top section contains various input fields for user information:

- お名前 (Name):
- 匿名の場合 (If anonymous):
- 年齢 (Age):
- 性別 (Gender): ☐ 男性 (Male) ☐ 女性 (Female)
- 職業 (Occupation): (with '会社員' (Employee) as an example)
- メールアドレス (Email address):
- 住所 (Address):
- 趣味 (Hobbies): ☐ 読書 (Reading) ☐ 音楽 (Music) ☐ スポーツ (Sports) ☐ 旅行 (Travel) ☐ 料理 (Cooking) ☐ その他 (Others)
- テーマナンバー (Theme number):

The bottom section is titled '<ご意見コーナー(400字以内)>' (Opinion corner (within 400 characters)). It contains a large text area (9) for writing, a small icon (11) on the right, and a row of buttons (10, 12) at the bottom. The entire form is labeled with '8' at the bottom center.

【図3】

